

平成30年度 決算

皆さんが納めた税金はどのように使われているか？
町の財産や借金はどれくらいあるのか？
平成30年度決算の概要をお知らせします。

【お問い合わせ】
役場総合政策課 ☎52-2111 (内線234)

平成30年度決算について、一般会計決算は「歳入」・「歳出」とともに大きく増額しました。
前年度と比較し、一般財源補てんのための財政運営基金繰入金が増加したことや、中央公民館建設を先送りし、関連する中央公民館建設基金と少額残高基金を廃止したため、それらの基金残高4億5,922万円を一般会計予算経路で財政運営基金等へ移行したことなどが、主な要因として挙げられます。
また、平成30年8月豪雨による災害復旧事業に9,647万円を要したことや、建設事業である旧認定こども園保育園舎や旧西田邸の改修事業に要した分なども増加要因となっています。

③ 特別会計の状況 — 診療所など特定の事業収支はどうか —

特別会計とは、特定の事業を行うための会計で、その収支を明確にするために設置するものです。介護保険料は一般会計でも負担し、料金の抑制を行っています。また、町立金山診療所の経営は非常に厳しく、一般会計で約2億円の運営費補助を行っています。

※収益的：水道水を作り、各家庭へ送り届けるための費用や減価償却費。主収入は水道料金や一般会計補助金。
※資本的：水道管などの施設整備費用や借入金の返済。

| 会計区分 | 歳入 | 歳出 |
|--------------------|-----------|-----------|
| 国民健康保険特別会計（事業）：医療費 | 1,379万円 | 1,290万円 |
| 国民健康保険特別会計（直診）：診療所 | 4億 712万円 | 4億 24万円 |
| 介護保険特別会計 | 8億3,159万円 | 7億9,940万円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 6,392万円 | 6,244万円 |
| 農業集落排水事業会計 | 6,838万円 | 6,447万円 |
| 公共下水道事業会計 | 1億7,330万円 | 1億6,385万円 |
| 水道事業会計 | 収益的 | 1億9,957万円 |
| | 資本的 | 0万円 |
| | | 7,825万円 |

④ 基金残高の推移 — 町にどれだけの貯金があるか —

平成30年度決算は黒字となりましたが、これは貯金となる財政運営基金を3億3,000万円活用した結果。基金は後年度の貴重な財源であり、災害対応の財源としても活用します。基金残高の増加につながる事業の見直しを行っていきます。

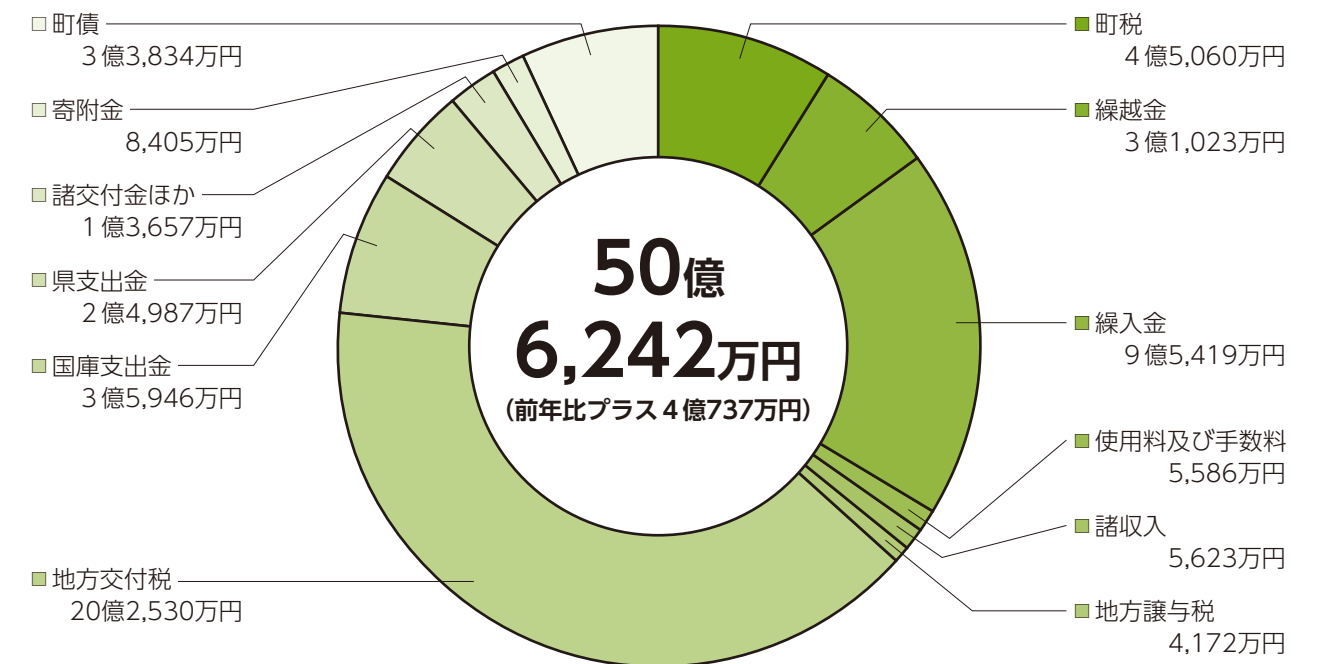
| 年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------------------|------------|------------|------------|
| 財政運営基金（財源不足補填） | 7億5,212万円 | 4億8,860万円 | 7億 105万円 |
| 減債基金（借金返済）および特定目的基金等 | 5億7,119万円 | 6億6,041万円 | 4億5,524万円 |
| 合計 | 13億2,331万円 | 11億4,901万円 | 11億5,629万円 |

⑤ 地方債残高の推移 — 町にどれだけの借金があるか —

地方債残高はこれから返済するいわば「借金」の金額で、全会計では約65億円となっています。返済時に国の補助がある過疎債などを一部活用していますが、健全な財政運営に向けて計画的な事業の実施をする必要があります。

| 年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|---------------|------------|------------|------------|
| 一般会計 | 44億2,256万円 | 44億3,101万円 | 44億6,885万円 |
| 国保直診特別会計（診療所） | 6,940万円 | 7,350万円 | 1億1,912万円 |
| 農業集落排水事業会計 | 1億7,462万円 | 1億4,668万円 | 1億1,981万円 |
| 公共下水道事業会計 | 13億3,601万円 | 12億7,912万円 | 12億1,663万円 |
| 水道事業会計 | 6億9,812万円 | 6億3,939万円 | 5億7,510万円 |
| 合計 | 67億 71万円 | 65億6,970万円 | 64億9,951万円 |

① 一般会計 歳入 — 1年間にどのような収入があったか —



② 一般会計 歳出 — 1年間にどのような支出があったか —

